学校番号	101

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	第一学習社「Vivid English Communication I NEW EDITION」 第一学習社「Vivid English Communication I NEW EDITION WORK BOOK」 桐原書店「Hyper Listening」

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語コミュニケーションⅠの授業では、「読むこと」「聞くこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」、「書くこと」の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えを的確に理解し適切に表現し合うことに主眼を置いたものです。教科書の各レッスンでは、さまざまな題材を通して日本とは異なる文化や価値観、人の生き方を学び考えていきます。また、レッスン内ではクラスの中での生徒同士の相互コミュニケーションを積極的に行い、英語を通したコミュニケーション能力を育成することで生徒の将来の生きて働く力を養うことを意識して取り組んでいきます。

２．学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】履修科目：「英語コミュニケーションⅠ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

領域	1.聞くこと	2.読むこと	3.話すこと（やり取り）	4.話すこと（発表）	5.書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話される基本的な英文を 1 文聞き取った後でリピートすることができる。	・簡単な語や表現で書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なことについて複数の文を書くことができる。 ・学習した文法事項などの知識を活用して、場面、状況に応じた正しい文を書くことができる。

3．学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。			

4．学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価基準	評価方法
1	Lesson1 The Symbol of a New Era	1	a: 新紙幣の肖像に選ばれた人物の経歴や活躍について現在・過去・未来、助動詞、意味のまとまりに注意して聞き取る技能を身に付けている。 b: 放送される内容から、偉人の生涯に関する要点や詳細を考え理解している。 c: 歴史上の人物の功績について理解しようとしている。	・定期考査（リーディング） ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 領域ごとに点数化し、評価を行う
		2	a: 紙幣に描かれている人物に関する英文を、文法事項（時制・助動詞）を意識して読み取る技能を身に付けている。 b: 教科書の文章を読み、内容を整理して他者に伝えるための要点を読み取っている。 c: 英文の構造（意味のまとまり）に注意して、内容を正確に把握しようとしている。	
		3	a: 歴史上の人物や紙幣の話題について、既習の文法を用いて即興でやり取りする技能を身に付けている。 b: 教科書の内容を活用し、自分の考えを話して伝え合うやり取りを行っている。 c: 相手に配慮し、わかりやすく情報を伝え合おうとしている。	
		4	a: 整理した内容を活用して、イギリスの紙幣や歴史上の偉人の生涯について、理由や根拠をもとに発表する技能を身に付けている。 b: 聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションを行っている。 c: 準備した資料に基づき、自信を持って他者へ発表しようとしている。	
		5	a: オーストラリアの紙幣や日本の紙幣の特徴について、正しい文法（時制等）を用いて書く技能を身に付けている。 b: 教科書で学んだ表現を活用し、自分の考えを論理的に書いて伝えている。 c: 場面や状況に応じて、適切な語彙や表現を選び書こうとしている。	
	Lesson2 I Was Drinking Chocolate	1	a：チョコレートの歴史や、飲み物から食べ物へと変化した過程について、進行形、不定詞、動名詞、英語の音の特徴に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： 放送されるスピーチや対話から、チョコレートの歴史における重要な変化（いつ、どこで、どのように変わったか）を考え理解している。 c： 英語特有の音の変化（連結や脱落など）を意識しながら、内容の要点を正確に聞き取ろうとしている。	
		2	a： 不定詞（名詞的用法）や動名詞の理解を基に、チョコレートが世界に	

			広まり形を変えていく歴史についての英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 教科書の文章を読み、事実関係（過去の飲み物としての姿と現代の食べ物としての姿）を整理し、その変遷の理由を読み取り理解している。 c： 教科書の文章を読み、チョコレートという身近な題材の背景にある歴史的な事実に興味を持ち、その内容を読み解こうとしている。	
		3	a： チョコレートの歴史や自分の好きな食べ物について、進行形や不定詞を用いて即興で話して伝え合うやり取りの技能を身に付けている。 b： 教科書の内容を読んだり聞いたりしたことを活用し、食文化の背景について自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを行っている。 c： 自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを、相手の反応を見ながら粘り強く行おうとしている。	
		4	a： チョコレートの歴史や、食に関する新しい発見について、進行形、不定詞、動名詞を正しく使い、理由や根拠をもとに他者へ発表する技能を身に付けている。 b： 教科書の内容を理解した上で、自分たちが普段口にしているものの歴史的背景について調べ、他者へわかりやすく発表している。 c： 聞き手に配慮し、適切な声の大きさやジェスチャーを用いて、自分の考えを理由とともに発表しようとしている。	
		5	a： チョコレートの変遷や、身近な食品の歴史について、文法事項（進行形・不定詞・動名詞）を正しく活用し、複数の文を書いて伝える技能を身に付けている。 b： 学習した文法や表現を活用し、場面や状況に応じて自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。 c： 辞書やワークブックを活用しながら、自らの考えをより正確に伝えるために英文を推敲し、書こうとしている。	
中間考査				
	Lesson3 Welcome to the World of hospital Art	1	a：ホスピタルアートの役割や、入院患者への支援について、S+V+O(=that 節)、現在完了形、受動態、英語の音の特徴に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： 放送される対話から、病院関係者への支援のアイデアなど、必要な情報を聞き取り把握している。 c： 音の特徴に注意して、対話の内容を正確に理解しようとしている。	・定期考査（リーディング） ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 各領域ごとに点数化し評価を行う
		2	a： S+V+O(=that 節)、現在完了形、受動態の理解を基に、ホスピタルアートの役割について書かれた英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 教科書の文章を読み、ホスピタルアートがもたらす効果やその目的を整理して読み取っている。 c： 社会的な取り組みに関する英文に対し、背景を理解しようと粘り強く読み進めている。	
		3	a： 病院を快適にするためのアイデアについて、現在完了形や受動態を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。 b： 教科書の内容を活用し、病院関係者への支援のアイデアについて自分の考えを即興で伝え合っている。 c： 相手と協力して、病院環境の改善という課題について建設的に意見を交わそうとしている。	
		4	a： ホスピタルアートの導入事例やその効果について、既習の文法を正しく使い、聞き手に配慮して発表する技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、より良い病院環境のためのアイデアをわかりやすく構成し発表している。 c： 視覚資料などを効果的に使い、聞き手に伝わるよう工夫して発表しよ	

			うとしている。	
		5	a： 病院の環境改善に関する取り組みについて、S+V+O(=that 節)などの文法事項を活用して正しく書く技能を身に付けている。 b： 教科書で学んだ表現を活用し、病院を快適な場所にするための自分の提案を理由とともに書いている。 c： より適切な語彙や表現を選び、読み手に伝わる英文を書こうとしている。	
	Lesson4 Esports' Time Has Arrived	1	a： e スポーツの特徴やプロゲーマーの活躍について、比較（比較級・最上級・原級)、S+V+O+to-不定詞に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： 放送される内容から、e スポーツが世界で注目されている理由や今後の広がりについて要点を把握している。 c： 指示語が指す内容に注意し、英語の内容を理解しようとしている。	
		2	a： 比較表現や S+V+O+to-不定詞を意識して、e スポーツの現状やプロゲーマーに関する英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 文中の事実関係（e スポーツの普及状況など）を整理し、筆者の主張や要点を読み取っている。 c： 現代的なトピックに対し、既習の知識を動員して正確に内容を把握しようとしている。	
		3	a： e スポーツやゲームキャラクターについて、比較表現を用いて即興で質問したり答えたりする技能を身に付けている。 b： 質問サイトの投稿文などの特徴を理解し、相手とゲームに関する意見を即興で伝え合っている。 c： 相手の好みを尊重しつつ、自分の考えを積極的に伝えようとしている。	
		4	a： 創作したキャラクターの紹介や e スポーツの魅力について、比較表現を使い、聞き手に配慮して発表する技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、ゲームキャラクターの特徴を魅力的に構成し発表している。 c： 聞き手の興味を引くような表現や提示方法を工夫して発表しようとしている。	
		5	a： e スポーツのメリットやトーナメントの条件について、比較表現や S+V+O+to-不定詞を用いて書く技能を身に付けている。 b： 学んだ表現を活用し、自分のお気に入りのゲームや選手について、理由や根拠を添えて書いている。 c： 辞書等を用い、より自然な英語表現になるよう推敲して書こうとしている。	
期末考査				
2	Lesson5 Go Sustainable	1	a： 持続可能な社会の実現に向けた取り組みについて、現在分詞・過去分詞、It is ... (for A) to 〜 に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： ファッションや観光における具体的な問題点と解決策について、必要な情報を聞き取り把握している。 c： 言語の働き（説明・描写）を理解し、事実や情報を正確に聞き取ろうとしている。	・定期考査（リーディング） ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題
		2	a： 分詞による後置修飾や It 構文を意識して、サステナブルな社会に関する英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 教科書の文章から、各分野における課題とそれに対する取り組みを整理して読み取っている。 c： 地球規模の課題に対し、英文を通じて自らの知識を広げようとしている。	

		3	a： サステナブルな取り組みやおすすめのスポットについて、分詞や It 構文を用いて即興でやり取りする技能を身に付けている。 b： 教科書の内容に基づき、自分たちができるサステナブルな行動について意見を交換している。 c： 英語での対話文の特徴を理解し、聞き手に配慮して円滑にコミュニケーションを図ろうとしている。	各領域ごとに点数化し評価を行う
		4	a： 体験型観光スポットや環境への取り組みについて、分詞等を活用し、理由を添えて発表する技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、おすすめのスポットの魅力を他者にわかりやすく構成し発表している。 c： 自分の発表が相手にどのように伝わっているかを意識し、自信を持って表現しようとしている。	
		5	a： サステナブルな製品や観光地について、分詞や It 構文を用いて複数の文で説明する技能を身に付けている。 b： 学習した表現を活用し、自分の身近にある持続可能な取り組みについて、根拠を添えて書いている。 c： 内容をより具体的に伝えるために、適切な修飾語や構文を選んで書こうとしている。	
	Lesson6 In this Corner of the World	1	a： 戦時下の生活を描いた作品の内容について、現在完了進行形、関係代名詞（主格・目的格）、S+V+O(=疑問詞節)に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： 放送されるシナリオや対話から、登場人物の心情や当時の生活の様子を考え理解している。 c： 相づちや聞き直しなどの言語の働きを理解し、円滑に内容を理解しようとしている。	
		2	a： 現在完了進行形や関係代名詞を意識して、作品の背景や「普通の暮らし」の尊さに関する英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 文中の登場人物の行動や出来事のつながりを整理し、筆者が伝えたいテーマを読み取っている。 c： 歴史や平和という深いテーマに対し、英文の背景にある文化や感情を読み解こうとしている。	
		3	a： 映画の内容や平和のためにできることについて、関係代名詞等を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。 b： 教科書の内容を活用し、イラストについての説明や感想を即興で伝え合うやり取りを行っている。 c： シナリオの特徴を理解し、聞き手に配慮してわかりやすく自分の思いを伝え合おうとしている。	
		4	a： 作品のあらすじや自分の感想について、現在完了進行形や関係代名詞を使い、論理的に発表する技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、イラストの内容や作品の魅力を聞き手に効果的に伝わるよう構成して発表している。 c： 作品のメッセージを尊重し、真摯な態度で他者へ自らの考えを発表しようとしている。	
		5	a： 世界平和や身近な生活の尊さについて、関係代名詞等の文法事項を正しく活用し、複数の文を書く技能を身に付けている。 b： 学習した表現を活用し、自分が世界平和のためにできることについて、理由を添えて論理的に書いている。 c： 自分の考えをより深く伝えるために、関係代名詞などを用いて情報を補足しながら書こうとしている。	
中間考査				

	Lesson7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	1	a： 24 時間営業のメリット・デメリットについて、S+V+O+O(=that 節)、助動詞+受け身、関係代名詞 what、過去完了形に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： ディスカッションから、賛成・反対それぞれの論点や根拠を聞き取り、全体の流れを把握している。 c： 質問、共感、驚きなどの言語の働きを理解し、対話の内容を円滑に聞き取ろうとしている。	・定期考査（リーディング） ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 各領域ごとに点数化し評価を行う
		2	a： 関係代名詞 what や過去完了形を意識して、社会問題（コンビニの営業等）に関する英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 英文を読み、24 時間営業に関する事実関係や異なる立場からの主張を整理して読み取っている。 c： グラフや資料から読み取れる情報を英文と照らし合わせ、多角的に内容を把握しようとしている。	
		3	a： 24 時間営業やオリジナルの店舗について、助動詞+受け身などを用いて即興でディスカッションする技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、店舗についての対話を理解し、自分の考えを即興で伝え合っている。 c： ディスカッションのルールを守り、相手の意見を尊重しながら自らの主張を展開しようとしている。	
		4	a： 24 時間営業の是非や理想の店舗について、過去完了形や関係代名詞 what を活用し、論理的に発表する技能を身に付けている。 b： 準備した資料に基づき、聞き手に配慮してわかりやすくオリジナルの店舗について発表している。 c： 質疑応答にも適切に対応できるよう、自信を持って発表に取り組んでいる。	
		5	a： 利便性の変化や社会課題について、S+V+O+O(=that 節)などの文法事項を活用して複数の文で書く技能を身に付けている。 b： 学習した表現を活用し、コンビニ等の利便性と社会への影響について、自分の考えを根拠とともに書いている。 c： 読み手を説得するために、論理の構成や接続詞の使い方を工夫して書こうとしている。	
	Lesson8 Our Future with Artificial Intelligence	1	a： AI の特徴や活用事例について、some/others、分詞構文、関係副詞、ディスコースマーカーに注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： 統計データの解説や AI の将来予測について、要点や詳細を考え理解している。 c： 統計データを説明する際の注意点を理解し、英語での解説を正確に聞き取ろうとしている。	
		2	a： 分詞構文や関係副詞を意識して、AI と人間の共生に関する英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 英文の内容を整理し、AI が社会に与える影響や人間が果たすべき役割についての要点を読み取っている。 c： ディスコースマーカーに注意して、文のつながりや論理展開を正確に把握しようとしている。	
		3	a： AI の活用や将来の生活について、some/others や関係副詞を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。 b： 口コミサイトの説明を理解し、グラフから読み取った内容について即興で伝え合うやり取りを行っている。 c： AI という複雑なテーマについて、粘り強く相手とコミュニケーションを図り、考えを深めようとしている。	
		4	a： AI のメリット・デメリットや活用案について、分詞構文などを正しく	

			使い、データに基づき発表する技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、統計データや AI の事例について聞き手にわかりやすく構成し発表している。 c： 専門的な内容をわかりやすく伝えるために、表現を工夫し、聞き手に配慮して発表しようとしている。	
		5	a： AI の利便性や課題について、some/others や関係副詞などの文法事項を活用して書く技能を身に付けている。 b： 学習した表現を活用し、機械翻訳の利点と問題点などについて、自分の考えを論理的に書いている。 c： 自分の主張を裏付けるために、具体的な事例やデータを効果的に引用して書こうとしている。	
	Lesson9 Stop Microplastic Pollution!	1	a： 海洋プラスチック汚染の現状と対策について、S+V+O+C(=原形不定詞・現在分詞)、条件の if 節、仮定法過去に注意して聞き取る技能を身に付けている。 b： 放送される対話から、環境問題の解決策や一人ひとりができる行動について要点を把握している。 c： パラグラフの構造に注意しながら、英語の内容を論理的に理解しようとしている。	
		2	a： S+V+O+C や仮定法過去を意識して、海洋汚染や SDGs に関する英文を読み取る技能を身に付けている。 b： 英文の内容を整理し、プラスチックごみが環境に与える深刻な影響と改善に向けた提案を読み取っている。 c： SNS の投稿文などの特徴を理解し、環境改善を訴えるメッセージの内容を把握しようとしている。	
		3	a： 環境問題やプラスチックを使わない生活について、条件の if 節や仮定法を用いて即興でやり取りする技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、学校の環境問題に関する対話を理解し、環境改善を訴える意見を伝え合っている。 c： 地球規模の課題に対し、自分たちの意見を出し合うことで、より良い社会に向けた対話を行おうとしている。	
		4	a： 海洋汚染の解決に向けたアイデアについて、S+V+O+C や仮定法を活用し、理由を添えて発表する技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、環境問題への具体的なアクションプランをわかりやすく構成し発表している。 c： パラグラフの構造（序論・本論・結論）を意識して、説得力のあるプレゼンテーションを行おうとしている。	
		5	a： プラスチックごみの削減や環境保護について、S+V+O+C や仮定法過去などの文法事項を正しく活用し、パラグラフを書く技能を身に付けている。 b： 学習した表現を活用し、環境改善を訴えるためのパラグラフを、論理的な構成で書いている。 c： 読み手に配慮して、わかりやすく環境改善を訴える英文を推敲して書こうとしている。	
期末考査				
3	Optional Lesson A Retrieved Reformation	1	a： ストーリーの展開や登場人物のセリフについて、既習の文法を総動員して聞き取る技能を身に付けている。 b： 放送される物語から、場面の移り変わりや登場人物の心情の変化を考え理解している。 c： 英語特有の音のつながりやリズムを意識しながら、物語の世界観を理解しようとしている。	・定期考査 （リーディング） ・リスニングテスト ・スピーキングテス

		2	a： 既習の文法事項を正確に活用し、物語のあらすじや詳細な描写を読み取る技能を身に付けている。 b： ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して他者に伝えるための要点を読み取っている。 c： 文学的な表現にも注意を払い、物語の結末やテーマについて深く考察しようとしている。	ト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 各領域ごとに点数化し評価を行う
		3	a： 物語の感想や自分の考えについて、適切な語彙や表現を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。 b： 整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを即興で伝え合うやり取りを行っている。 c： 相手の感想に耳を傾け、物語に対する解釈の違いを楽しみながらやり取りを行おうとしている。	
		4	a： 物語の要約や自分の気に入った場面について、論理的な構成で他者へ発表する技能を身に付けている。 b： ストーリーの魅力を伝えるために、内容を効果的に再構成して発表している。 c： 聞き手の心に響くような語りかけを工夫し、自信を持って発表しようとしている。	
		5	a： 物語のあらすじや自分の考えについて、既習の文法事項を正しく組み合わせて書く技能を身に付けている。 b： 学習した表現を活用し、物語を読んだ後に感じたことや自分の価値観について論理的に書いている。 c： 語彙の選択や文のつながりに配慮し、物語の感想をより豊かに表現しようとしている。	
学年末考査				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度